

# 低コストで遮熱性能高く



工場や店舗で一般的な折板屋根にアルミシートを両面テープで貼り付ける

# 屋根新工法、県内で拡販

## フジホームサービス 代理店網を構築

工場・店舗向け

住宅リフォームなどを手掛けるフジホームサービス(浜松市)は工場や店舗の屋根に遮熱シートを張る新工法で、静岡県内で代理店網を構築して拡販に乗り出す。低コストで遮熱性能の高い新工法を自社で売り込むのと同時に、工場や店舗の修繕に強い建設会社や空調工事会社にも取り扱ってもらおうと、普及を狙う。数年後には新工法での売上高を年5億円にすることを目指す。

建築資材販売のライフテック(岐阜県各務原市)が開発した「サーモバリアスカイ工法」を拡販する。アルミニウムとポリエチレンなどを重ね合わせたシートで太陽の熱を反射させる。工場などで一般的な折板屋根に両面テープで直接貼り付けるため、工事が簡単なことが特長だ。アルミ箔が太陽光を反射することで、太陽光で熱せられた屋根から発する放射熱を大幅にカットできる。ライフテックが昨年6〜7月に静岡大学の中山顕教授(現特任教授)と実施した共同実験で、試験棟の室温が貼り付けなかった場合より最大でセ氏11度低かった。ライフテックは昨年、新工法の特許を出願した。静岡県内ではフジホ

ムサービスが総代理店となり、二次代理店を募る。「フジホームは工法の開発段階から協力している」(ライフテックの布目五輪男社長)ため、フジホームが静岡での販売を束ねる形にした。フジホームは昨年11月からサーモバリアスカイ工法の工事を自社で受注し、設備工事の日管(浜松市)や建設会社の中村建設(浜松市)など県西部の大手が受注した案件に材料や工事を提供する形で受注している。二次代理店に材料・工事を提供する方法で、県中部や東部にも広げる。同工法は500平方メートル以上の表面積がある屋根であれば、1平方メートルあたり3000円程度で施工できるという。遮熱塗料を塗る工法は1平方メートルあたり2500〜1万2000円と幅広い。塗料はひび割れで5〜6年で塗り直しをするケースが多いが、シートは10年ほどの耐久性があるという。フジホームは新工法で初年度4000万円程度を売り上げを見込む。自社での直接受注を1億円

に伸ばし、二次代理店への材料・工事の提供と合わせて、数年後に年5億円の売り上げを目指す。現在はリフォームと、LPガスやミネラルウオーターの販売で年間10億円を売り上げがあるが、「遮熱シートを新たな事業の柱に育てる」(宮瀬貴久社長)方針だ。フジホームサービスは産業用燃料販売などを手掛ける富士物産(浜松市)の全額出資子会社。富士物産のLPガス販売部門を分社して2002年に設立された。

00円と幅広い。塗料はひび割れで5〜6年で塗り直しをするケースが多いが、シートは10年ほどの耐久性があるという。フジホームは新工法で初年度4000万円程度を売り上げを見込む。自社での直接受注を1億円

00円と幅広い。塗料はひび割れで5〜6年で塗り直しをするケースが多いが、シートは10年ほどの耐久性があるという。フジホームは新工法で初年度4000万円程度を売り上げを見込む。自社での直接受注を1億円